

# 「7000人の復興会議」における 町民の意見・提案について（とりまとめ概要）

## 1. 「7000人の復興会議」の趣旨

「7000人の復興会議」は、双葉町復興まちづくり計画を策定するに当たって、町民の皆さんの意向が十分に反映された計画とするため、双葉町復興まちづくり委員会と並行して、町民のご意見・ご要望を広く集めることを主眼として実施しました。

「7000人の復興会議」で得られたご意見・ご提案は、以下のとおり、多様にわたっています。このように多様で示唆に富む数多くのご意見・ご提案は、単なるアンケート調査からは得られないものです。網羅的な町民の皆さんの意向を反映した「住民意向調査」の結果に加えて、「7000人の復興会議」で得られた多様なご意見・ご提案を分析・整理することで、様々な状況におかれた多くの町民の皆さんのご意向を把握することが可能となりました。

## 2. 「7000人の復興会議」の開催経緯

平成24年8月から平成25年3月にかけて、①ワークショップ形式の会議、②インターネット会議、③マイノート配布の3つの手法を用いて、できるだけ多くの町民から双葉町の復興に向けた取り組むべきこと等について、意見を求めました。その結果、延べ1,150名が参加し、6,805件の意見がありました。（一人あたり5.9件）

### （1）ワークショップ形式の会議（参加者数：598名、意見数：3,508件）

#### ①広域を対象とした会議・・・8回

| 会議        | 開催日時                     | 会場                          | 人数  |
|-----------|--------------------------|-----------------------------|-----|
| 第1回福島市会議  | 8月19日（日）<br>13：00～17：00  | 福島県 福島市青少年会館<br>2F          | 59名 |
| 第2回東京会議   | 9月2日（日）<br>13：00～17：00   | 東京都 大田区産業プラザ<br>2F 特別会議室    | 34名 |
| 第3回柏崎市会議  | 9月16日（日）<br>13：00～17：00  | 新潟県 柏崎市産業文化会館2F<br>第2会議室    | 21名 |
| 第4回加須市会議  | 9月23日（日）<br>13：00～17：00  | 埼玉県 騎西コミュニティセン<br>ター 4F 会議室 | 18名 |
| 第5回いわき市会議 | 10月14日（日）<br>13：00～17：00 | 福島県 いわきアリオス 3F<br>中リハーサル室   | 26名 |

|           |                          |                          |     |
|-----------|--------------------------|--------------------------|-----|
| 第6回郡山市会議  | 10月21日(日)<br>13:00~17:00 | 福島県 日本大学工学部<br>70号館      | 23名 |
| 第7回つくば市会議 | 11月11日(日)<br>13:00~17:00 | 茨城県 つくば市役所 2F<br>会議室 201 | 31名 |
| 第8回全体会議   | 12月16日(日)<br>13:00~17:00 | 東京都 秋葉原 UDX              | 20名 |

## ②地域毎のグループ会議・・・25回

### ■福島県内のグループ会議等

| グループ会議      | 開催日時                     | 場所                                  | 人数  |
|-------------|--------------------------|-------------------------------------|-----|
| さくらグループ会議   | 10月22日(木)<br>13:00~15:00 | 福島市 さくら応急仮設住宅                       | 11名 |
| 日和田グループ会議   | 12月4日(火)<br>13:00~15:00  | 郡山市 日和田応急仮設住宅                       | 18名 |
| 会津若松グループ会議  | 12月11日(火)<br>13:00~15:00 | 会津若松市 絆情報ステーション                     | 8名  |
| 北幹線グループ会議   | 12月12日(水)<br>13:00~15:00 | 福島市 北幹線第2応急仮設住宅                     | 26名 |
| いわき南台グループ会議 | 12月14日(金)<br>13:00~15:00 | いわき市 南台応急仮設住宅<br>※グループホームでもヒアリングを実施 | 26名 |
| さくらグループ会議   | 12月18日(火)<br>13:00~15:00 | 福島市 さくら応急仮設住宅                       | 18名 |
| いわき南台グループ会議 | 12月19日(水)<br>13:00~15:00 | いわき市 南台応急仮設住宅<br>※グループホームでもヒアリングを実施 | 19名 |
| 南相馬グループ会議   | 12月21日(金)<br>13:00~15:00 | 南相馬市 絆情報ステーション                      | 2名  |
| 白河グループ会議    | 12月26日(水)<br>13:00~15:00 | 白河市 郭内応急仮設住宅                        | 35名 |

|                    |                          |                               |     |
|--------------------|--------------------------|-------------------------------|-----|
| 県中借上げ自治会定例会でのヒアリング | 12月22日(土)<br>11:00~14:30 | 福島県農業総合センター<br>※全体の中の一部でヒアリング | 10名 |
| 白河婦人会でのヒアリング       | 12月26日(日)<br>13:00~15:00 | マイタウン白河<br>※全体の中の一部でヒアリング     | 21名 |

## ■茨城県内のグループ会議

| グループ会議    | 開催日時                     | 場所                     | 人数  |
|-----------|--------------------------|------------------------|-----|
| つくばグループ会議 | 11月4日(日)<br>13:00~16:00  | つくば市並木 双葉町役場つ<br>くば連絡所 | 11名 |
| つくばグループ会議 | 11月17日(土)<br>13:00~15:00 | つくば市並木 双葉町役場つ<br>くば連絡所 | 11名 |
| つくばグループ会議 | 12月2日(日)<br>13:00~15:00  | つくば市並木 双葉町役場つ<br>くば連絡所 | 11名 |
| つくばグループ会議 | 12月15日(土)<br>9:00~12:00  | つくば市並木 双葉町役場つ<br>くば連絡所 | 11名 |
| つくばグループ会議 | 1月5日(土)<br>10:00~12:00   | つくば市並木 双葉町役場つ<br>くば連絡所 | 7名  |
| つくばグループ会議 | 1月26日(土)<br>10:00~12:00  | つくば市並木 双葉町役場つ<br>くば連絡所 | 11名 |
| つくばグループ会議 | 2月17日(日)<br>10:00~12:00  | つくば市並木 双葉町役場つ<br>くば連絡所 | 15名 |

## ■埼玉県内のグループ会議

| グループ会議   | 開催日時                     | 場所                        | 人数  |
|----------|--------------------------|---------------------------|-----|
| 埼玉グループ会議 | 10月30日(火)<br>13:00~15:00 | 加須市 旧騎西高校                 | 9名  |
| 埼玉グループ会議 | 11月18日(日)<br>13:00~15:00 | 加須市 広域避難者支援サロ<br>ン「ハーモニー」 | 4名  |
| 埼玉グループ会議 | 11月24日(土)<br>13:00~15:00 | 加須市 旧騎西高校 柔道場             | 10名 |
| 埼玉グループ会議 | 12月1日(土)<br>14:00~16:00  | さいたま市 大宮文化会館              | 4名  |
| 埼玉グループ会議 | 12月10日(日)<br>13:30~15:30 | 加須市 旧騎西高校 生徒ホ<br>ール       | 11名 |
| 埼玉グループ会議 | 12月15日(土)<br>14:00~15:00 | 所沢市 生涯学習推進センタ<br>ー        | 3名  |
| 埼玉グループ会議 | 12月25日(火)<br>13:30~15:30 | 加須市 旧騎西高校 生徒ホ<br>ール       | 35名 |

## ■東京都内のグループ会議

| グループ会議   | 開催日時                 | 場所                     | 人数  |
|----------|----------------------|------------------------|-----|
| 東京グループ会議 | 11月4日<br>13:00～16:00 | 東京都港区乃木坂 クラブ<br>カクタス   | 15名 |
| 東京グループ会議 | 12月9日<br>13:00～15:00 | 東京都新宿区 新宿パーク<br>ホテル会議室 | 4名  |

## (2) インターネット会議

### ■集計範囲

平成24年9月の本格運用開始から平成25年3月29日までに専用HP上に投稿された意見・提案について集計。

### ■参加者数

合計：66名

### ■意見数

合計：1,196件（※専門家の意見・コメントを除く）

## (3) マイノートの配布

### ■集計範囲

平成25年3月29日までに回収されたマイノートの意見・提案について集計。

### ■回収数

合計：486冊（うち、高校生以下 67冊）（※子ども用の用紙によるものを含む）

### ■意見数

合計：2,101件（うち、高校生以下 82件）

## (参考)「7000人の復興会議」への参加方法

### ①方法1 会議開催会場へ参加する

ワークショップ（WS）形式で行う町民参加の集会型  
会議（※各地域でのグループ会議を含む）

方法 **1. 会議開催会場へ参加する**




全国の主な避難地域で開催して自分の意見・思いを出してグループごとに話し合うワークショップを行っています。どの地域の会議にも自由に何度でも参加可能です。

### ②方法2 インターネット会議へ参加する

専用ホームページを作成、インターネットによる会議

方法 **2. インターネット会議へ参加する**




専用ホームページに、意見や提案を投稿することで、離れた町民の方々と意見交換したり共感の支持を受けることができます。

<http://みんなまちづくり.jp/futaba/>

### ③方法3 ノートに意見を記入する

みんなまちづくりマイノートの配布による意見収集

方法 **3. ノートに意見を記入する**



皆様一人一人の意見や提案を自由に記入してください。2012年12月下旬に集計のため回収します。

町民の皆様と意見交換するために、意見や提案をかきとめた「マイノート」をワークショップ会議に持参されることをお勧めしています。

### 3. 収集された町民の主な意見・提案

上記の「7000人の復興会議」において収集された町民の意見及び提案 6,805 件について、復興まちづくり計画案の審議に活かせるよう、それぞれの意見を 14 カテゴリーに分類しました。各カテゴリーの意見については、本来全ての意見を掲載するところですが、紙面に限りがありますので、ここでは各カテゴリーから主な意見を抽出して整理しました。

町民の皆さんから寄せられた 6,805 件の生の声の全ては、双葉町ホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください（個人が特定できる記述は一部特定ができないように修正をしております）。ホームページの閲覧が難しい方は、冊子（約 500 ページ）をお届けしますので、双葉町役場企画課あてにご連絡ください。

「7000人の復興会議」における町民の意見・提案のとりまとめについて  
[http://www.town.futaba.fukushima.jp/fukkou/7000kaigi\\_iken.html](http://www.town.futaba.fukushima.jp/fukkou/7000kaigi_iken.html)

#### ① 復興への思いについて

（町民の復興への思い）

- ・ 帰りたいけど帰れない
- ・ ふるさとは失いたくない
- ・ 帰還したいような魅力的な町にしなければならない
- ・ 町民が一つになる
- ・ 人間としての復興をまず手助けしてほしい
- ・ 子どもや孫との生活を取り戻したい
- ・ 一日でも早く元の双葉町に戻して次世代に繋げたい
- ・ 1人1人が幸せに暮らしていけることが復興である
- ・ 子ども・若者が住みたいと思われる町にしないといけない

（帰還の見通し）

- ・ 双葉町に帰れるのか帰れないのか知りたい
- ・ いつ帰れるのかをはっきりしてもらいたい
- ・ 双葉町へ帰りたいという思いは分かるが現実的に実現することを考えていかななくてはならない
- ・ 双葉町に帰るとしたら一体どのくらいの人が帰るのだろうか
- ・ 「ふるさと双葉町」と言っても汚染されたところに戻ろうとしているのは間違っていると思う

## ② 住みたい場所（仮の町を含む）について

(住みたい場所)

- ・今の双葉町には住めない
- ・一日も早く仮の町をつくってほしい
- ・仮の町は希望しない
- ・安全に安心して子どもが暮らせる町がよい
- ・家族がバラバラなので早く皆と一緒に暮らしたい

(仮の町の形態)

- ・できれば双葉町の人と一緒に集まって住みたい
- ・町民が1か所に集まるのは無理があるので、複数個所としてほしい
- ・町に帰る前提で仮の町を早く作ってほしい
- ・仮の町は、帰還のためだけの中間地点というところではない
- ・行政単位で住みたい
- ・行政単位で住むことにはあまりこだわらなくてもいい

(仮の町の場所選定の条件)

- ・放射能のない町に住みたい
- ・双葉町に類似した風土、豊かな自然環境（海、山、川）のある場所がよい
- ・買い物ができ医療機関が近くにあり家族と一緒に暮らせるところ
- ・仕事や生活に必要な箱ものをつくってほしい
- ・交通の便のよいところに住みたい

(仮の町の機能)

- ・復興公営住宅を早く作ってほしい
- ・仮の町で生活するには仕事が重要
- ・生活のパッケージがほしい（住居、仕事、医療福祉）
- ・住居、生活の糧、経済機能全てが整わないと仮の町にはならない
- ・何も無いところに作るのではなく、既存の同じ町の中で点在して住民が移り住んだ方が仕事、商業施設も揃っていて生活しやすい
- ・自活できる人は自活し、それが難しい人のための施設を優先して考えるべき、学校・病院等はその地域のものを利用し、あまり大きな投資にならないようにかつ経済弱者が利用しやすい施設を作ってほしい
- ・畑や田んぼ作業ができるような場所を提供してほしい
- ・子どもを思いっきり遊ばせられる公園をつくってほしい

(住宅環境整備)

- ・庭付き一軒家がいい
- ・高層ではなく低層の建物がいい
- ・住居+デイサービスを併設した住環境が必要
- ・5階建でもエレベータをつけるべき

- ・高齢者長屋のようなところがほしい
- ・公務員宿舎を活用してリノベーションにより住まいを整備したい
- ・単に人数に応じた機械的な仕様ではなく、高齢者への配慮、家族との同居等ニーズに応じた供給をしてほしい
- ・仮設ではなく核となる復興公営住宅があり、その周辺に一軒家があるものを早くつくってほしい

(仮の町に住まない町民への支援)

- ・仮の町ができた時、そこに移ることができなかった人にも同等の補助なり支援が必要なのではないか
- ・どこの町で生活を始めても双葉町民としての支援をお願いしたい
- ・複数の選択肢を用意し個人が選べるようにすること

### ③ 仕事・産業について

(雇用の確保・働きやすい環境)

- ・若者が仕事のできる環境が必要
- ・中高年の就職支援・確保を実現してほしい
- ・女性が働くにしても子どもを預かってくれるところがほしい
- ・フルタイムの仕事がしたいが、保育サービスが不十分なためできない
- ・仕事と育児が両立できる環境を整えてほしい、病児保育とかあると安心

(生業再開・新たなビジネス創出)

- ・双葉町の人々が居るところで事業を再開したい
- ・仮の町でも本当は農業をやりたい
- ・事業再開を目指す人に仮設工場・事務所を提供すべき
- ・双葉町の名産品を復活したい
- ・新しい産業を興すことが必要
- ・福祉施設ができれば、今まで福祉施設で働いていた職員もいるので、そういう人たちの働く場所としてもよいと思う

### ④ 教育について

(学校の再開・存続)

- ・時間が経てば経つ程子どもたちはばらばらになってしまう、早く学校を再開したい
- ・学校再開は町復興のシンボル
- ・子どもたちに母校をもどしてあげたい
- ・保育園・幼稚園をつくってほしい
- ・歴史ある双葉高校を残してほしい



・子どもは学校に慣れたとかで早くしないと現在の場所に定着してしまうと思う  
(町の教育の在り方)

- ・町独自の教育ビジョンがほしい
- ・双葉町が特任校に率先して手をあげて、モデルとなるような特徴的なまちづくりに挑戦すべき
- ・双葉町の人口減を考え、学校は幼稚園から高校までの一貫教育を図り、施設をまとめていく

(子どもの教育環境・子ども同士のつながりの確保)

- ・未来の双葉出身の子どもたちが、十分な教育を受けられるサポート体制を
- ・双葉の子どもたちのネットワークがほしい
- ・あと1年で入学だが、何回も転校しないように落ち着いたところに行かせたい
- ・インターネットを積極的に使って、広い視野を持たせてほしい
- ・双葉町のような少人数での教育を受けさせたい
- ・放射線や原子力等の安全に関わることも等も教えてほしい、また、双葉の歴史や文化等も教えてほしい
- ・小学生の「再開の集まり」の時に、「一緒にいわきに住みたい」という思いになっていて、かわいそうになった

## ⑤ 医療・福祉について

(町民の健康管理)

- ・今後健康上の問題が多発する可能性が高く、フォローが必要、長期的な健康管理の面で支援を考えてほしい
- ・甲状腺検査を全年齢無料にしてほしい
- ・双葉町から自殺者が出ないような対策を
- ・老人が孤立しない環境をつくるべき
- ・苦しんでいる人の負担を和らげる策（話をきく、顔を見に行く等）を練るべき

(医療・福祉サービスの確保)

- ・設備の整った病院がほしい
- ・介護施設を充実させてほしい
- ・せんだんのような老人ホーム、デイサービス、ショートステイ等がほしい
- ・高齢者だけでなく、障害者へのサポートも（身体、精神、知的）もう少ししてほしい
- ・国は原発避難者特例法を策定して運用を各自治体に任せているが、十分な運用がなされていない、自治体間の温度差がある

## ⑥ 避難生活について

(避難生活の現状)

- ・避難生活は限界を感じている(住居の不便さ、ほっとできない精神的なストレス)
- ・この先どうしたらいいか不安だらけ、いつまでこんな生活が続くのか
- ・住めない家のローンを未だに払い続けている
- ・原発事故でみんなバラバラになってしまった
- ・大切な友人との距離が遠くてさみしい

(賠償問題の解決)

- ・早く賠償を進めてほしい、全ての賠償の支払いがなくては先に進めない
- ・自立するには十分な賠償が必要
- ・賠償手続きに関するノウハウや、国・東電との協議進捗状況をみんなに知らせてほしい

(住居の改善)

- ・仮設・借上げ住宅の入居期限が心配、制度を延長してほしい
- ・借上げ住宅の移転制限を、県内外を問わずなくしてほしい

(避難生活の改善・負担軽減)

- ・高速道路の無料化を続けてほしい
- ・医療費等の無料化を継続してほしい、医療費の免除がなくなると通院回数を減らさないといけなくなる
- ・住民票の発行を避難先でできるようにしてほしい
- ・健康検査を避難先で実施してほしい
- ・様々なことへの窓口が分からない、明確にしてほしい

## ⑦ 双葉町の復旧・復興について

(当面の土地利用の在り方)

- ・一時立入の出入りをもっと簡易にしてほしい
- ・6号線を自由に通れるようにしてほしい
- ・一時帰宅の際に使うトイレを作してほしい
- ・お墓参りだけは何とかできるようにしてほしい、自分のお墓がある場所は線量も高いし、そこに行く道が整備されていないので、まだ一度も行けていない
- ・壊れたお墓を修復・再建したい
- ・一時帰宅のために道路を直してほしい、町へ戻れなくてもお墓参りのために崩壊した道路網を整備してほしい
- ・道路・鉄道の復旧が急務である
- ・常磐高速道路の早期開通
- ・屋敷周りや田畑の草刈りをして荒廃を防止したい

- ・家の保全をお願いしたい
- ・空き巣や火災の問題に対応すべく、町の防犯・防災に努めるべき
- ・家に残してきたプロパンガスや各種燃料が危険な状態にあり心配
- ・町民で見守り隊をつくって現状の安全を守るのがよい
- ・町の状況を写真や動画で見ることができれば、年老いた親達が帰れなくても見せることができるのではないか
- ・帰れないのに、元の家管理はだれの責任になるのか
- ・津波対策としてコンクリート防波堤と高い土溜を組み合わせるべき
- ・津波でやられた土地は買い上げてほしい
- ・自宅を移築してほしい

(町の将来の再興に向けた取組)

- ・双葉町にある家屋の盗難や火事等の管理は今後の課題になるが、元の所有物に対して全部補償をしてもらえば、全て更地にして除染してもらったほうがよいのではないか
- ・もし再生可能であれば思い切って田を一枚 50~100 m<sup>2</sup>の大きな田形にする、区画整理をしながら工事の中で天地替をして放射線量を下げる
- ・人口減少が予想される中それを逆手に取り、樹木と水路を配した緑と水の豊かな公園都市にしたい
- ・汚染物を除去するための研究施設として活用する
- ・自然公園にする
- ・バイオエタノール等除染と結び付いた新たな産業を開拓すべき
- ・ラスベガスのような娯楽施設を福島に持ってくるような思いきった付加価値が大事
- ・海岸沿いに太陽光発電基地として大規模造成し、企業・行政でその拡大を図る
- ・除染技術を研究する企業の誘致を積極的に図っていく
- ・将来的に町中へある程度の規模の多様なテナントの入った商業施設を誘致する

## ⑧ 放射線の影響について

(放射性物質の低減)

- ・放射能の影響が心配で帰還する気にならない
- ・事故前の放射能レベルにならないと子どもたちを連れて帰れない
- ・水源が汚染されている、双葉町には戻れないだろう
- ・線量の正しい広報を行ってほしい
- ・双葉町の行政区ごとの汚染地図が必要

(原発の安全性)

- ・原発の処理が安全に進むかどうか信用できない

- ・ 原発事故が収束していないのは明らか
- ・ 現在の福島第一原発4号機の安全性に疑問がある
- ・ 廃炉作業が終わらないうちは帰れない

## ⑨ 除染・中間貯蔵施設について

(除染)

- ・ 除染はしっかりしてほしい、町民全員が安心して暮らせる環境をつくってほしい
- ・ 除染方法の開発を急いでほしい
- ・ 試験除染を早めに実施してほしい
- ・ 今の除染方法は疑問
- ・ 除染費用は多大、それにお金をかけるくらいなら他に使うべき
- ・ 除染では汚染を全て消すことはできない

(中間貯蔵施設)

- ・ 中間貯蔵施設は必要、設置できなければ除染が進まない
- ・ 中間貯蔵施設を双葉町につくってほしくない

## ⑩ 情報共有とコミュニティの維持について

(町民の交流機会の確保)

- ・ 住民の電話帳を作ってほしい。
- ・ 町民の連絡先を知りたい、そのための仕組みがほしい
- ・ 使い方が簡単な端末で町民同士が話をできるようにしてほしい
- ・ 住民が自由に使えるタブレット端末を町から無料で貸し出してくれると、情報が早く伝わるのでよいと思う
- ・ 町民がふれあえる場所がほしい、情報交換ができる場所がほしい
- ・ 家族や友達の絆を取り戻したいので、町民の集まりの機会を増やしてほしい
- ・ だるま市や祭り等を開催して、双葉町の人が集まる機会を設けるべき

(町からの情報提供)

- ・ 役場からの情報がないと感じるので、スピード感を持って情報を提供してほしい。
- ・ 「広報ふたば」は月1回、「フォトフレーム」も更新頻度が少なく、内容が実用的でないので双葉町の情報が入手しにくいと感じる
- ・ 町長、役場の動きをニュースとして動画を交えてみせるような情報集約型のサイトを作ってほしい

(避難先住民との交流)

- ・ 新たなコミュニティ作りに目を向けるべきではないのか
- ・ 自治体の枠を越えて、避難先での横の繋がりを作るべき
- ・ 避難先では双葉町民だけではなく地元の方も輪に入れたコミュニティを作りたい

## ⑪ 語り継ぎたい双葉町の暮らしについて

(双葉町での暮らし)

- ・海・山・川・自然に恵まれている
- ・空気が美味しい
- ・気候が温暖で過ごしやすい
- ・食べ物が美味しい、野菜も美味しい
- ・人と人との交流があり、繋がりを感じる
- ・人情があり近所付き合いがあった

## ⑫ 残したい双葉町の歴史・文化について

(残したい町の歴史・伝統・文化)

- ・じゃんがら念仏祭り、盆踊り等があり里帰りの喜びを分かち合う
- ・歴史は子孫に残さなければならない
- ・ふたばダルマ、ダルマ市の開催
- ・夏の盆踊り、秋は町民体育祭
- ・指定文化財以外の歴史的な文化財、資料も多く、こうしたものも残してほしい
- ・清戸迫古墳
- ・標葉せんだん太鼓
- ・前田の大杉を守ってほしい
- ・双葉町音頭

(町の歴史・伝統・文化の継承)

- ・双葉町のルーツ等を大事にしたい
- ・町での暮らし、文化が存在したことを記録として残すべき
- ・町の写真や映像等で記録をしっかりと残してほしい
- ・今までの双葉町に戻るのに100年はかかるため、こういう町があったことを残す施設があるべき
- ・歴史・民俗博物館を作してほしい
- ・伝統芸能等を継承して残してほしい
- ・離れて生活している時間が長くなると文化の継承は遠のいてしまう、文化継承のためにも、とにかく多くの人が集まる機会を作らなければならない

(事故の教訓の伝承)

- ・この原発事故を絶対に忘れてほしくない
- ・「忘れられる」ということが一番悲しい
- ・震災で体験したことを後世にちゃんと継承していくべき、未来の財産とするためのツールを検討すべき

### ⑬ その他復興会議の運営等に関する意見

(7000人の復興会議の運営)

- ・会議の必要性、目的、意見の反映場所をはっきりとさせるべき
- ・町のやることに無駄が多いと思う、労力と費用の無駄遣いにならないだろうか
- ・町に意見を出しても町からの反応がなく、一方通行で終わっているのではないかと不安に感じる

(国・県等への要望)

- ・町の復興は国の責任でしっかりとやっていただきたい
- ・東電・国にはもっと被災者の立場に立った対応をしてほしい
- ・国がはっきりしないと我々は将来設計をしたくてもできない
- ・町→県→国への要求をちゃんとまとめてやるべき

(町の運営体制)

- ・早く町の方向性を示してほしい
- ・双葉町は他の町村に比べて全てが遅れている
- ・町長は町民に対して説明責任を果たすべき
- ・町長と議会がもめている場合ではない
- ・町長・議員等みんなで協力して、色々な事を進めていってほしい

(今後のまちづくり体制)

- ・若い人の意見を十分に取り入れた町にしてほしい
- ・若い人や熟年のリーダーに期待し町民が一致協力して新しい町づくりに邁進する
- ・町の復興のため専門分野に精通している方を広く募って、多くのポジションで活躍してもらいたい
- ・双葉町に住民票がない人も何か双葉町に関わりたいと思っている人はたくさんいるはず、声をかければもっと人が集まると思うがそこには情報が来ていない
- ・町にとどまらず、もっと広域的に双葉郡全体で考える視点も持ち合わせるべき

## ⑭ 双葉町の子どもたちからの意見

双葉町の子どもたちからも多くの意見をいただきました。こうした子どもたちの意見は、ぜひ直筆を見ていただきたく、寄せられた意見を双葉町ホームページに掲載しました。ここでは、紙面の限りから、主なものを以下に抽出しました。ホームページに掲載されている子どもたちの生の声もぜひご覧ください。ホームページの閲覧が難しい方は、冊子（約 500 ページ）をお届けしますので、双葉町役場企画課あてにご連絡ください。

「7000 人の復興会議」における町民の意見・提案のとりまとめについて

[http://www.town.futaba.fukushima.jp/fukkou/7000kaigi\\_iken.html](http://www.town.futaba.fukushima.jp/fukkou/7000kaigi_iken.html)

- ・ふたば大すき ふたば どのけんよりも大だいたいすき！ だからまけないで！  
ふたばをみんなでおうえんする！
- ・ふたば町のいいところは、みんながやさしいことです なかよしの人がいっぱい  
いました いまは友達がいっぱいいるのでうれしいです
- ・ふたばのみなさんは元気ですか？ わたしは元気だよ みなさんはふたばにかえ  
りたいですか わたしもかえりたいです けれども きさいの友だちと先生と、  
はなれたくありません
- ・わたしのふたば町の1ばんのおもいでは、海での花火です なぜかというと、  
とてもきれいだからです
- ・私の家族は3つの場所に別れて生活しています なので、家族全員そろって同じ  
場所で住めるような環境を作ってほしいです
- ・双葉町にいつになったら復興し、帰れるのだろうか毎日思っています  
一日も早く復興させ、帰れるように考えてほしいと思っています
- ・双葉町で暮らしたことは忘れられません 小学校のときまで過ごした町、私にと  
って地元双葉は人もよく楽しい町だったので、早くそんな地元をとり戻せたらいい  
なと思います